

多摩区民祭で市民が行ったプラネタリウム投影の報告

由良文隆*

The report of planetarium shows by citizens in Tama Ward Festival

Fumitaka Yura*

1. はじめに

2017年11月18日、生田緑地で行われた多摩区民祭において、かわさき宙（そら）と緑の科学館では6回のプラネタリウム特別投影が無料で行われた。その番組制作および投影を「かわさきプラネタリウム同好会」が担当したので報告する。

2. かわさきプラネタリウム同好会について

「かわさきプラネタリウム同好会」は、かわさき宙（そら）と緑の科学館主催の2014年度「プラネタリウム番組制作教室」参加者有志によって、2015年9月に発足した。科学館職員の弘田澄人さん、國司 眞さんに顧問として指導をお願いしている。

会の目的は、会則に「科学館の事業に協力しプラネタリウム番組制作を行うことを主な目的とし、会員その他の活動の交流および親睦を図るために設けるもの」と書かれている。

どなたでも参加可能で、川崎市外在住の会員もおり、毎月1回、土曜日に科学館学習室で定例会を行い必要に応じてプラネタリウムで投影練習を行っている。

これまでに4回、番組を企画・制作し、投影発表会を実施した。

- ①2016年 3月20日
「メシエ天体めぐり」
- ②2016年 10月10日
「神話でめぐる秋の星座」
- ③2017年 4月30日
「こんなプラネタリウムあり!?!」
- ④2017年 10月14日
「星空の動物園」

発表会には以下の会員が参加した。

石澤、大橋、金井、倉橋、小町谷、齊藤、下條、杉本、匠、田仲、代田、中村、鉢金、林、間瀬、松岡、由良。

3. 区民祭投影の準備

「多摩区民祭で例年行っている無料投影を同好会で行ってはどうか」という打診があったのは、4回目の発表

会準備中だった。多摩区民祭投影は、その日の星座解説を中心に投影予定時間30分と言うことで、同好会としては良い経験になるのでやらせていただくことにした。

本格的な準備は10月14日の発表会終了後に行うことにしたが、準備期間が1か月程度しかなかったので、由良がシナリオと投影用のスクリプトを作成し、発表会準備と並行して進めることにした。

シナリオは第2回発表会で秋の星座の解説をおこなっていたので、その時のシナリオを活かして次の内容とした。

- ①日の入り、夏の星座（夏の大三角）
- ②光害の理由と光害がない満天の星
- ③秋の星座（秋の四辺形）
- ④アンドロメダ姫に関する神話
- ⑤冬の星座（冬の大三角、冬のダイヤモンド）
- ⑥クイズ「メガスターIIIで映し出せる星の数」
- ⑦明け方に見える惑星、日の出

投影用のスクリプトは、ステラドームスクールを使って作成した。

第4回発表会終了後、次のような日程で投影の準備をした。

- 10月26日
プラネタリウムに画像貼り付け、スクリプト確認
- 10月28日（定例会）
シナリオ検討 スクリプト確認
- 11月5日
投影練習
- 11月11日（定例会）
役割分担決定、リハーサル

準備にあたって、顧問の弘田さん、國司さんに日程調整や、助言をしていただき大変お世話になった。当日の役割分担は、各自が参加可能な時間でできるだけ多くの役割を経験できるように決めた。

これまで4回の発表会はすべて字幕付き投影だったが、区民祭投影も何回か字幕付き投影を行うことにした。

4. 区民祭当日のようす

*かわさきプラネタリウム同好会

朝の天気は曇りで、午後から雨が予想されるという、あいにくの天気だったが、予定通り、次の時程で行われた。

	チケット配布	投影
第 1 回	9:30	10:00～10:30
第 2 回	9:30	11:00～11:30
第 3 回	11:30	12:00～12:30
第 4 回	11:30	13:00～13:30
第 5 回	13:30	14:00～14:30
第 6 回	13:30	15:00～15:30

9 時に集合して打ち合わせ、準備を行った。各自都合に合わせて参加し、1 日中参加できる人、一部分だけ参加できる人、色々だったが、石澤、齊藤、小町谷、金井、間瀬、相田、倉橋、代田、鉢金、由良の 10 名が参加した。そして、各回の投影を次のように分担して投影した。

	ナレーション	操作	音楽	ポインター	字幕
第 1 回	石澤	金井	由良	石澤	齊藤
第 2 回	間瀬	金井	相田	石澤	
第 3 回	小町谷	間瀬	齊藤	小町谷	
第 4 回	相田	代田	齊藤	倉橋	
第 5 回	代田・金井	倉橋	小町谷	金井・代田	齊藤
第 6 回	石澤	倉橋	金井	間瀬	齊藤

(字幕付き投影は、第 1 回、5 回、6 回で実施した)

投影終了後、次の投影まで 30 分という慌ただしい日程だった。準備のための打合せに都合が付かず、本番で初めて参加する人もいた。そこで、第 1 回投影は練習を重ねた人が行い、それを見てやり方を学んで、本番に臨んでもらった。

また、ナレーションを暗記しなくてもいいようにパソコンのスライドショーで見られるようにしたこと、操作をスクリプトで自動化したことで、初めての人でもやり易くすることができ、これまでの発表会の経験が大変役立った。

また、発表会では、チケットの配布、お客様の誘導、非常口係など、すべて同好会で担当するが、今回の投影では、それらは科学館の方々がやって下さったので、同好会は、投影だけに専念できた。特に寒い中、館の外で整理券配布を行って下さった方々に感謝申し上げる。各回の整理券配布数は定員 200 人のところ次のようになった。

第 1 回 66 枚	第 2 回 200 枚	第 3 回 177 枚
第 4 回 199 枚	第 5 回 148 枚	第 6 回 176 枚

例年、各回満席となることが多いそうだが、今回は天候に恵まれず雨が降りそうな天気であったこと、市長選挙の影響で例年より 1 ヶ月遅く寒い時期になったことから人出が少なかったと思われる。それでも、満席となる回があり、閑散として寂しく感じる回はなかった。

満天の星に上がる歓声、クイズで正解を伝えたときの「やったー」というお子さんの声、退場されるとき「たのしかったねえ」という会話を聞いて、とても嬉しく思った。

6 回の投影もあつという間に終わってしまった感じで、各自、自分の役割を果たせた満足感を得ることができた。

5. 投影を終え、今後に向けて

1 ヶ月程度の短い準備期間で無事投影を終えることができ、ホッとするとともに自信を持つことができた。終了後、「来年もできたらいいね」という声も聞かれた。

ステラドームスクールで作ったスクリプトを使うことにより、操作を容易にすることができたが、課題も見つかった。それは、ステラドームスクールで作ったスクリプトはデジタル投影を基本としているので、メガスター投影機と連動することが、まだうまくいっていないところである。

日の入りと日の出の際にメガスターの星が出たままになってしまいマニュアル操作で消したので、今後は、スクリプトの作り方を学んで、自動化できるようにしたい。また、会員があまり増えず、発表会の際には人手不足の状態なので、会員募集に努めたいと思っている。

